

平成26年10月21日

保健師中央会議

神奈川県がん検診受診率向上モデル事業 実績概要

平成26年10月21日（火）

神奈川県保健福祉局保健医療部

主査 石黒 利奈

※データ集計はアフラックから委託
を受けて㈱キャンサーズキャンが実施

こんにちは！神奈川県です！



◇神奈川県は首都圏の一角に位置し、
北は東京都、東は東京湾、南は相模湾
西は山梨、静岡の両県に接している。

◇太平洋側気候の温暖な県土に、
約900万人が暮らしている。

◇33市町村
(16市、13町、1村)
政令指定都市3市(横浜、川崎、相模原)

歴史を紐解くと・・・

◇武士が開いた「鎌倉幕府」により初めて、
関東が政治の中心に

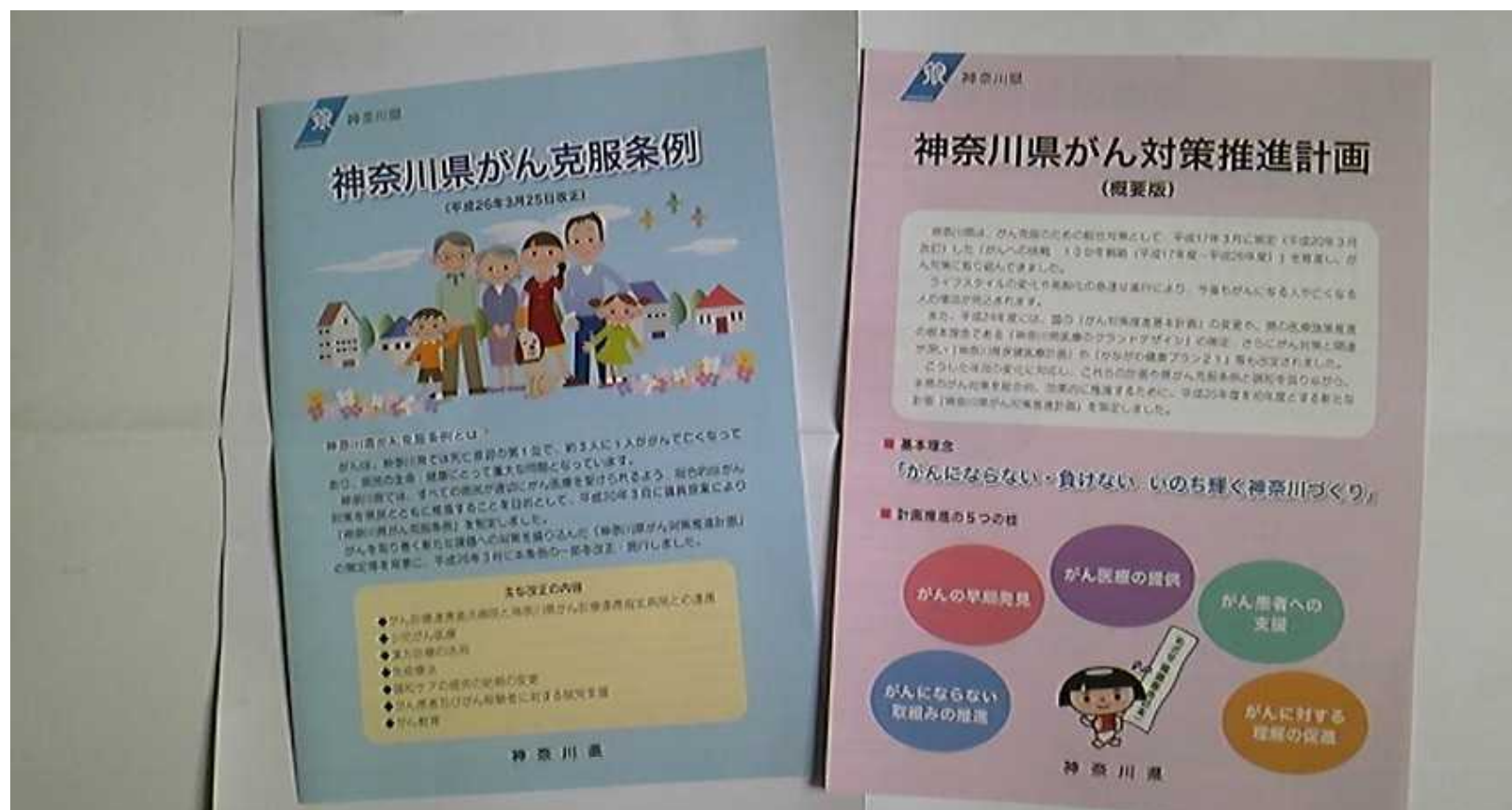
◇近代には、開国を迫るペリーが横須賀に
来航し、横浜港は開港場の1つとして、
西洋文明が流入する日本の玄関として発展



神奈川県のがん対策 ①

神奈川県は死亡原因の第1位はがんです。

「神奈川県がん克服条例」と「神奈川県がん対策推進計画」により、総合的ながん対策を推進しています。



神奈川県のがん対策 ②

神奈川県がん克服条例とは？

神奈川県がん克服条例とは？

○県の責務（第2条）

国、市町村、医療関係団体、がん患者などの関係民間団体と連携を図りつつ、地域の特性に応じたがん対策を策定し、実行します。

また、がんに関する正しい理解と関心を深めるための普及啓発を行います。

○保健医療関係者の責務（第3条）

がんの予防・早期発見の推進・がんの医療に携わる人は、県のがん対策に協力します。

○県民の責務（第4条）

食生活や喫煙、運動などの生活習慣や、身体に悪い影響のある生活環境等、がんにかかりやすくなる要因を排除するための正しい知識を学び、がんの予防に努めます。

●がんの予防・早期発見の推進（第5条）

- 県は、がんを予防するため、食生活や喫煙、運動その他の生活習慣や、身体に悪い影響のある生活環境が健康にどのような影響を及ぼすのか普及啓発を行います。
- 県は、がんの早期発見のため、医療関係者に対し、がん検診の質を高める研修などを行います。
- 県は、県民のがん検診の受診率を向上させるため、がん検診の普及啓発を行います。

●がん医療に関する情報の収集と提供（第6条）

- 県は、すべての県民ががん医療に関する適切な情報を得られるよう、診療情報の収集・提供に努めるとともに、がん登録などの施策を進めます。

●がん医療の水準の向上（第7条）

- 県は、県民が病状に応じたがん医療を受けることができるよう、市町村や医療機関などと連携し、がん医療の水準を高めます。
- 県は、がん診療連携拠点病院等間の連携強化や、小児がん対策、漢方を用いた診療の活用促進など、がん医療の水準の向上のための施策を進めます。

●がん研究の推進（第8条）

- 県は、がんの本態を解明する研究や、革新的ながんの予防や診断方法、免疫療法など、がん治療に関する方法の開発や研究の促進、研究成果の活用のための施策を進めます。

●緩和ケアの推進（第9条）

- 県は、がんに罹患したときからのがん患者の状況に応じた緩和ケアの充実を図るための施策を進めます。

◆緩和ケアとは

がんと診断されたときの精神的なつらさ、治療に伴う痛み、就業や経済的な負担に対する不安など、がんの診断や治療期間に關係なく、がんと診断されたときから感じるからだの痛みに対応するものであり、その対象者は、がん患者のみならず、その家族や遺族も含まれるものです。

●がん患者等の支援（第10条）

- 県は、がん患者やその家族に対する相談体制を充実し、就労に関する支援や、療養生活及びその家族の支援をする民間団体等の活動を支援し、がん患者の皆さんを支えます。

●がん教育の推進（第11条）

- 県は子どもたちががんに関する正しい知識を持ち、がんの予防や早期発見等の重要性について理解を深めることができるよう、教育機関、保健医療関係者などと連携し、がんに関する教育を推進します。

●がんについての県民運動の推進（第12条）

- 県は、保健医療関係者やがん患者などの団体と連携して、県民のがんの予防や早期発見を推進する活動を行います。



神奈川県のがん対策 ③

神奈川県がん対策推進計画とは？

■ 基本理念

「がんにならない・負けない いのち輝く神奈川づくり」

■ 計画推進の5つの柱

がんの早期発見

がん医療の提供

がん患者への
支援

がんにならない
取組みの推進

がんに対する
理解の促進



神奈川県

がんの早期発見のために

◇「神奈川県がん対策推進計画」より

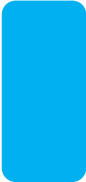
柱2 がんの早期発見

①がん検診の受診促進

②がん検診の精度向上

【主な目標】

平成29(2017)年度までに、がん検診受診率を
胃がん、大腸がん、肺がんは40%以上、乳がん、子宮がんは50%とします。



神奈川県のがん検診受診促進事業

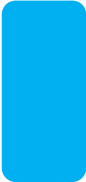
○がん検診推進事業（無料クーポン券事業）

○がん検診受診促進事業

○企業との連携事業

- ・がん検診普及啓発セミナーの開催
- ・地域における普及啓発キャンペーン等の開催
- ・ピンクリボンかながわ
- ・がん克服シンポジウムの開催

○県の広報媒体等を活用した普及啓発の実施



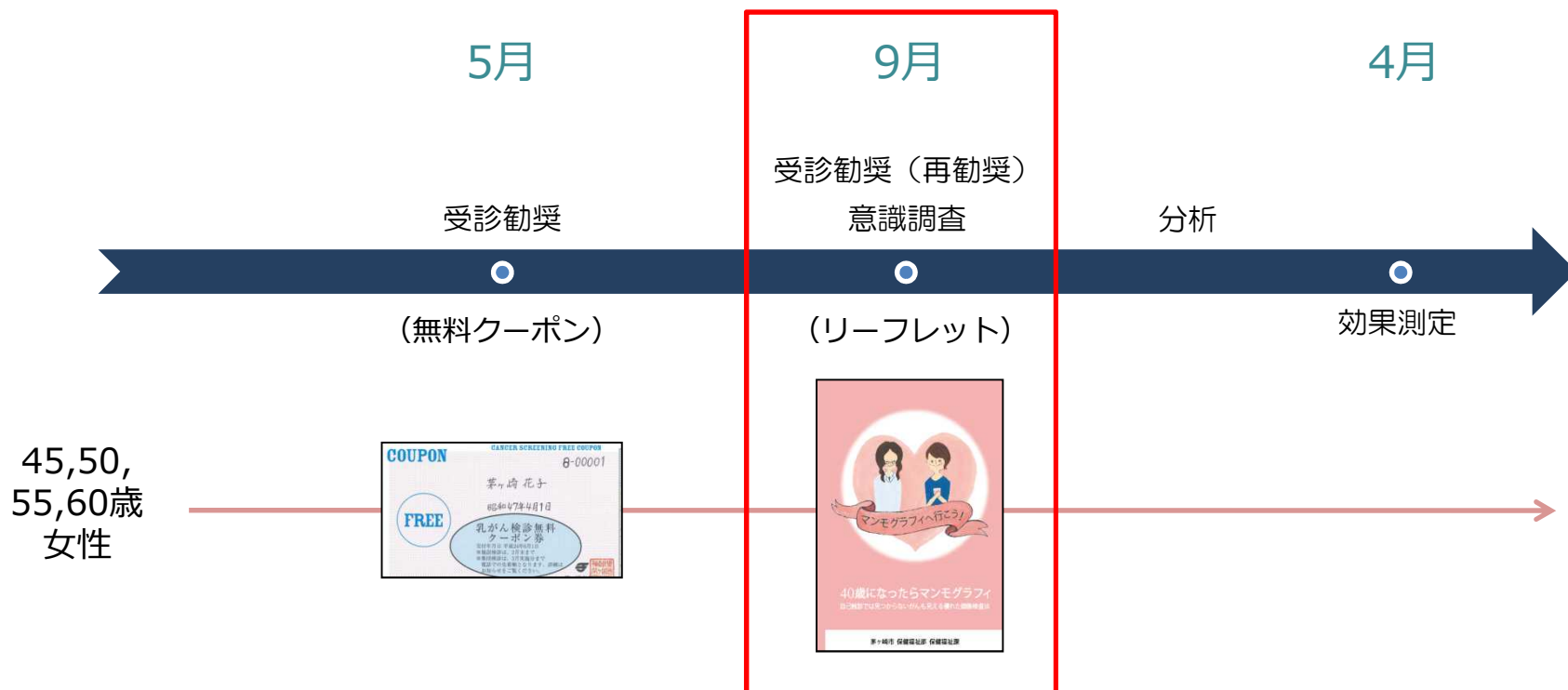
がん検診受診率向上 モデル事業について

1. 事業概要

本事業では、H24年5月に乳がん検診無料クーポン券が送付された女性約6,000名（45、50、55、60歳）に対し、H24年9月に乳がん検診を効果的に受診勧奨するリーフレットを個別送付することで、乳がん検診の受診勧奨（再勧奨）を実施した。なお、リーフレット送付時には、がん検診に関する意識調査票も同封し、意識調査も同時実施した。

対 象：乳がん検診無料クーポン対象者（45/50/55/60歳女性、対象者数5,972名）

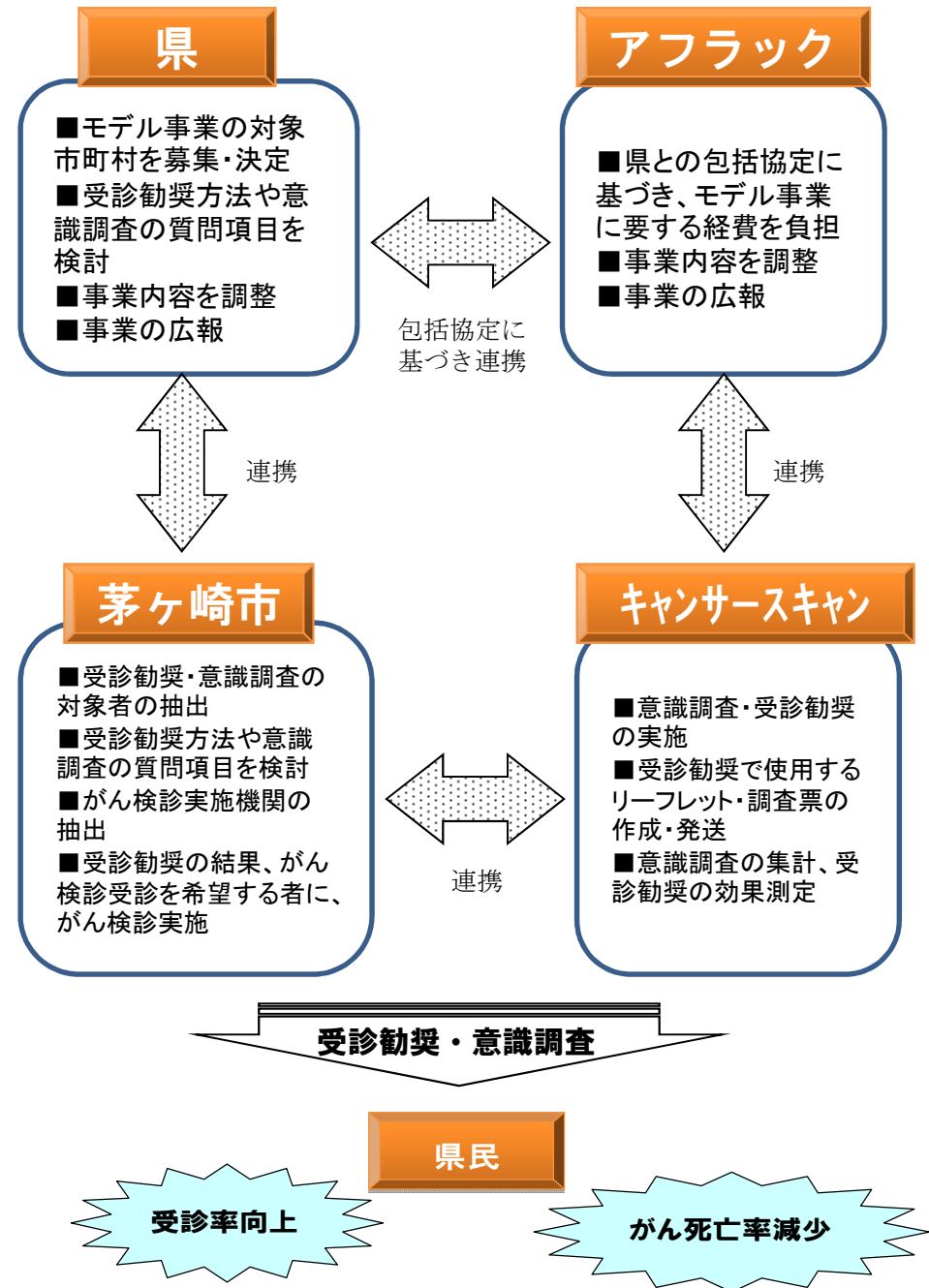
スケジュール：



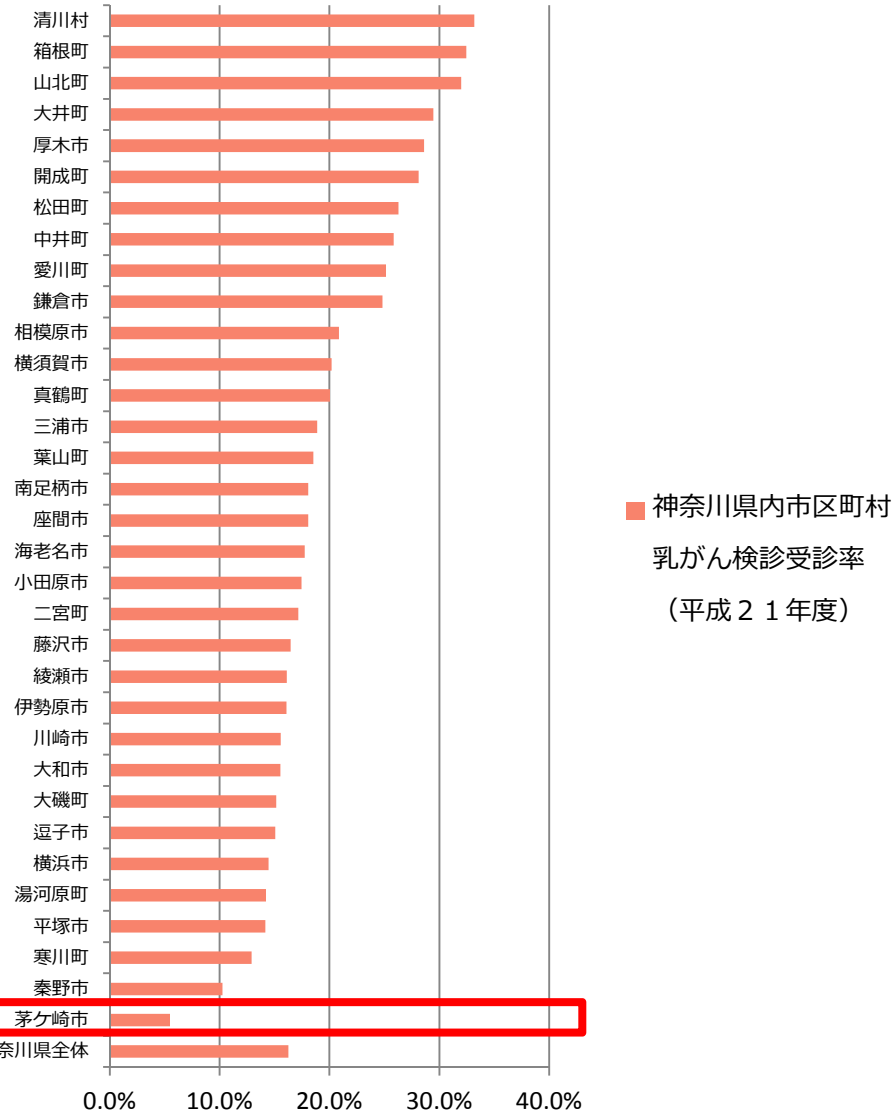
2. 実施体制

県は、包括協定を締結しているアフラックと連携し、モデル地域となる茅ヶ崎市にて受診勧奨・意識調査を実施した。

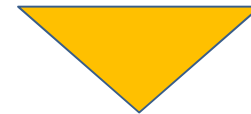
なお、調査及び勧奨は、受診率向上のノウハウを有している(株)キャンサースキャンが、アフラックから受託して行った。



3. モデル地域の決定

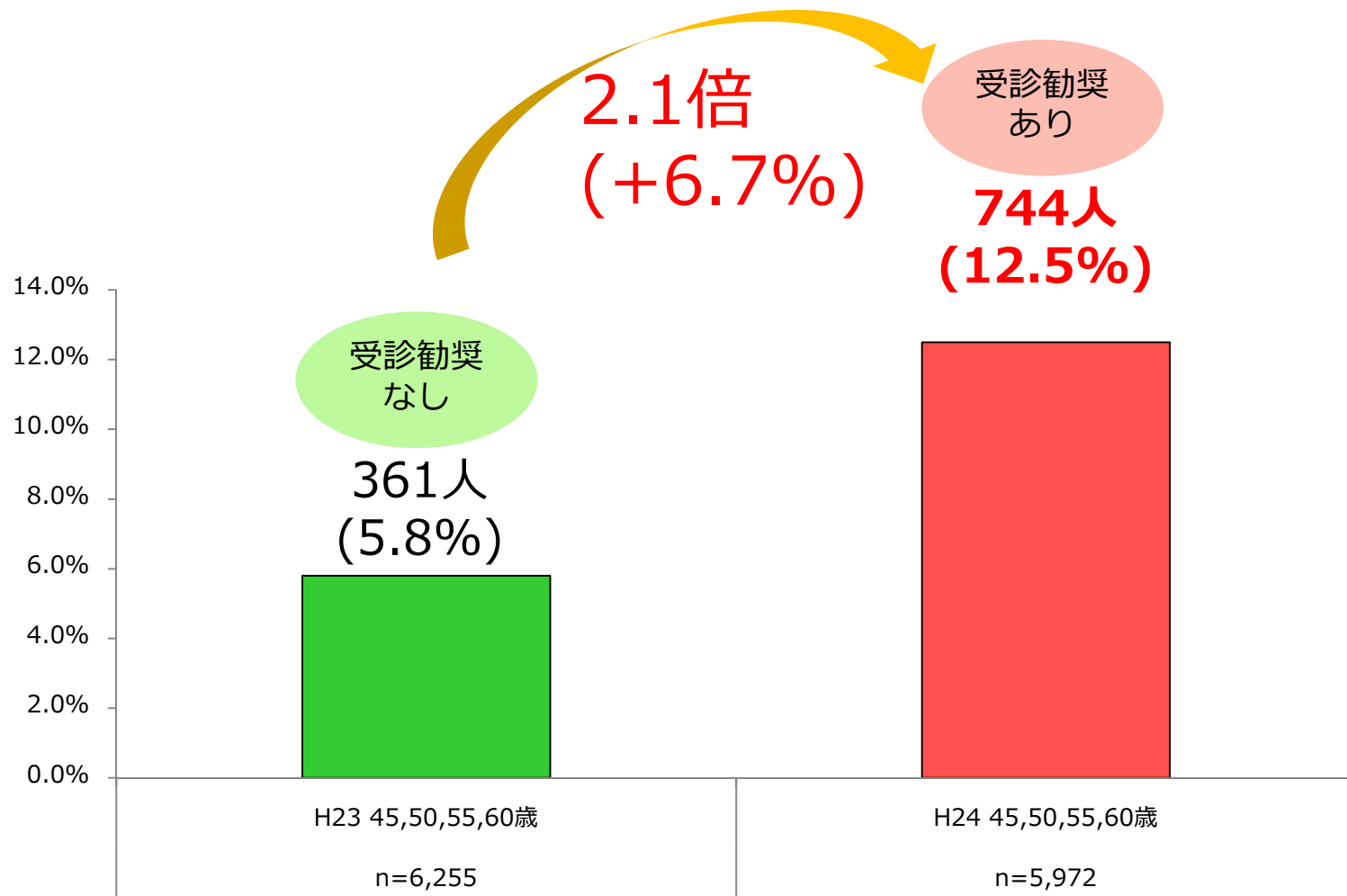


県において、モデル事業の実施に適した人口規模を有する13市に対し事業実施の意向について照会したところ、2市から実施希望あり



がん検診受診率の現状や受診希望者が増加した場合の対応という観点から、茅ヶ崎市においてモデル事業を実施することに決定

4. 事業結果 → 受診者は約2倍に増加



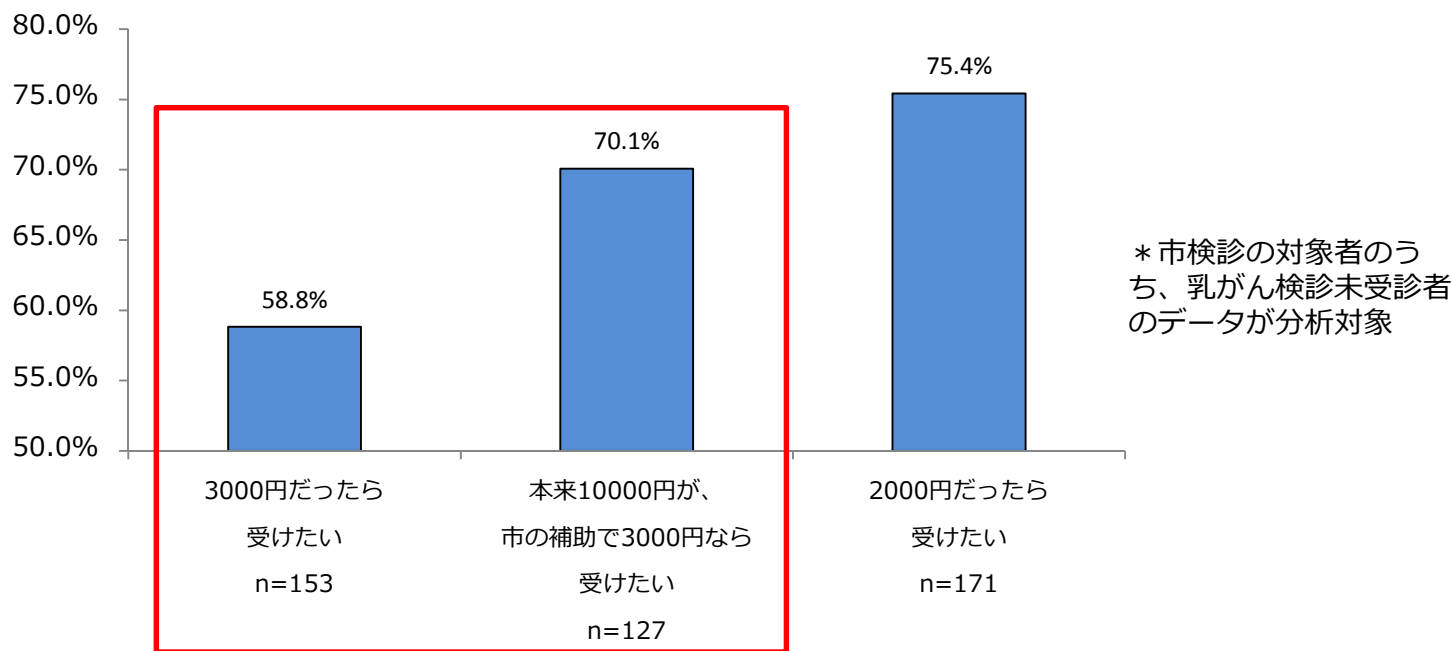
茅ヶ崎市在住の女性約6,000名（45、50、55、60歳）に受診勧奨したところ、
受診勧奨しなかったH23年度に比べ、受診者は約2倍に増加

1

本来の検診価格と市の補助額を明示

受診意欲を高めるため、自己負担額だけでなく、
「本来の検診価格」と「市の補助額」をリーフレットに明示

<検証：自己負担額×円※1だったら乳がん検診を受けたいと思いますか？>



※1 意識調査で、対象者を無作為に3グループに分け「3,000円だったら受けたいと思うか」「本来10,000円が市の7,000円の補助により3,000円なら受けたいと思うか」「2,000円だったら受けたいと思うか」と質問した。

⇒ 同じ3,000円の自己負担額でも、本来の検診価格（10,000円）と市の補助額（7,000円）明示した質問の方が、受けたいと回答した者が多く、受診意欲が高まることが検証された。

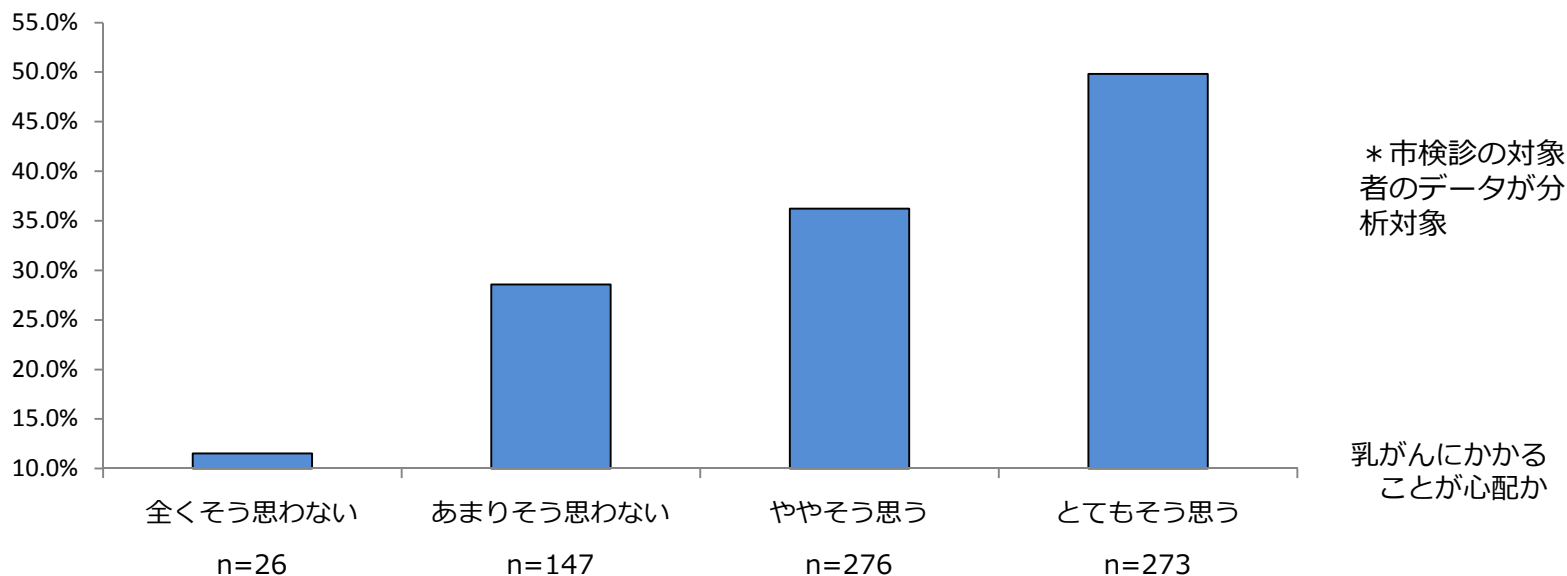
2

がんのり患リスク・重大性を明示

がんにかかることを心配しているほど受診率が高まると想定されたため、「がんのり患リスク・重大性に関する情報」をリーフレットに明示

<検証：乳がんにかかることが心配かどうかと乳がん検診受診率の関係>

乳がん検診受診率



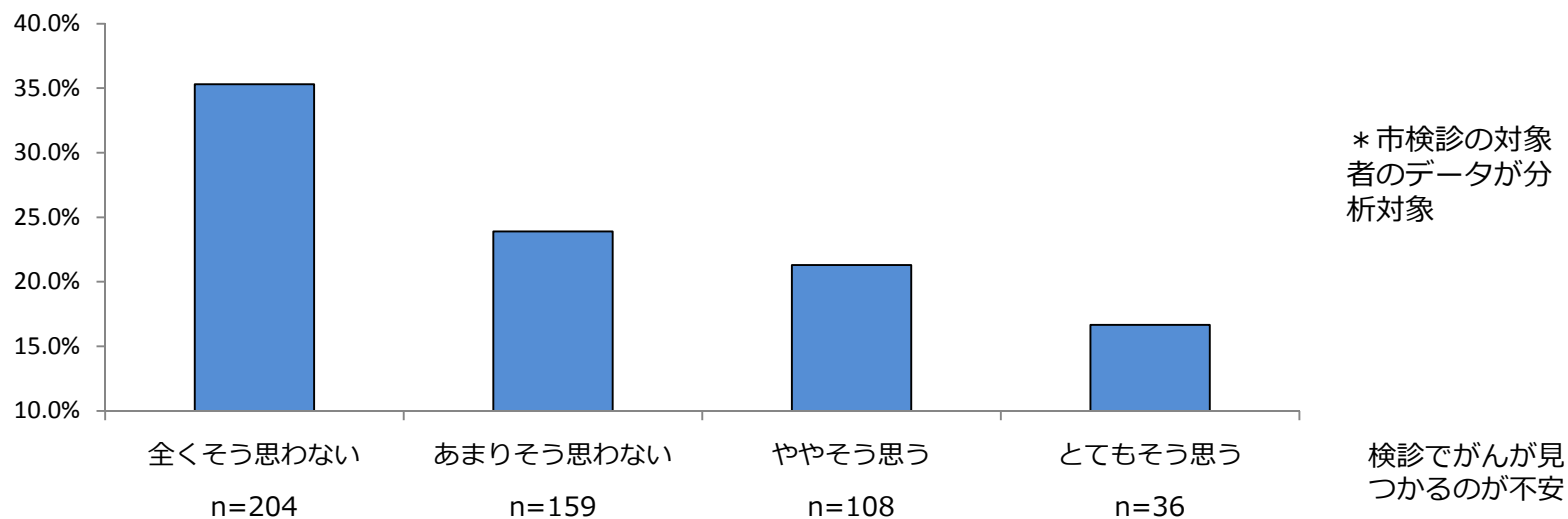
意識調査で「がんにかかることが心配である」との質問に「そう思う」と回答した者ほど、乳がん検診受診率が高まることが検証された。

検診の有効性に関する情報を明示

がんが見つかるのが不安と考えている者ほど、受診率が低くなると想定されたため、「検診の有効性に関する情報」をリーフレットに明示

<検証：検診でがんが見つかるのが不安と思っているかどうかと
乳がん検診受診率の関係>

乳がん検診受診率

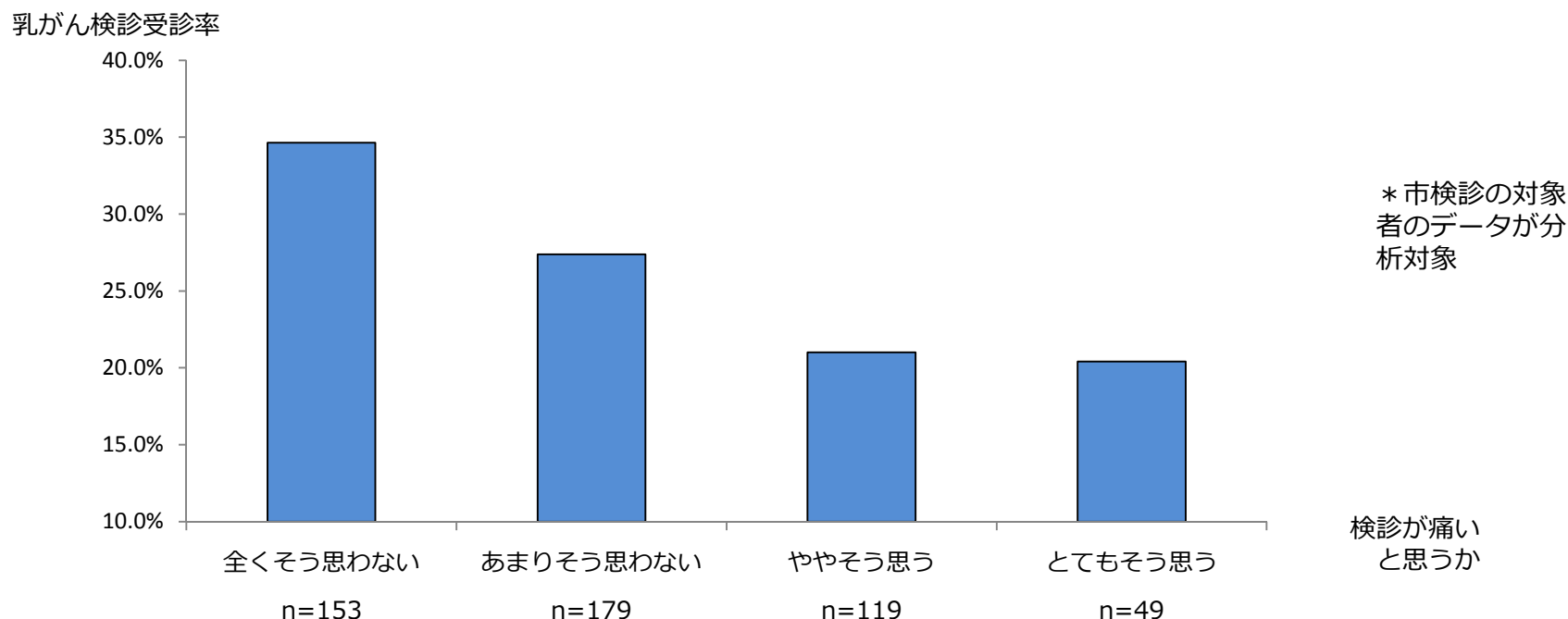


意識調査で「がん検診を受けなかった理由」として「がんが見つかるのではと不安」との質問に「そう思う」と回答した者ほど、乳がん検診受診率が低くなることが検証された。

正確な検診内容を明示

検診が痛いと思っているほど、乳がん検診受診率が低くなると想定されたため、「正確な検診内容」をリーフレット明示し、検診を過大に恐れないように配慮

<検証：検診が痛いと思っているかどうかと乳がん検診受診率の関係>



意識調査で「がん検診を受けなかった理由」として「痛いから」との質問に「そう思う」と回答した者ほど、乳がん検診受診率が低くなることが検証された。

乳がん検診普及啓発リーフレット 「マンモグラフィへ行こう！」(表)

¥10,000

茅ヶ崎市より助成があります

茅ヶ崎市在住、40歳以上の女性で、
無料クーポン対象者の方には、
約10,000円の助成があります。

乳がん検診(マンモグラフィ)は個人診療の場合、1万円を
越える高価な検査ですが、40歳以上の女性のうち、無料
クーポン対象者の方が市の検診を受けると、市から約1万
円の助成を受けていることになります。
(自己負担額 0円)

検査費用 約10,000円

助成金 ー約10,000円

自己負担金 0円

今年度の受診期間は、

施設検診は2月、集団検診は3月実施分まで

乳がん検診の流れ

Step 1. 検診を申し込む

【施設検診】医療機関を決めて予約の電話をする

茅ヶ崎市立病院健康管理センター 電話:0467-52-1566(直通)
湘南健康管理クリニック 電話:0467-86-6570
湘南東部総合病院 電話:0467-83-9111

【集団検診】市の保健福祉課に電話をする

電話:0467-82-1111

Step 2. 検診を受ける

問診 自覚症状等についてお聞きします
視触診 医師が乳房を視触して、しこりがないか調べます
マンモグラフィ 乳房のレントゲンを撮ります
自己触診の指導 自己触診の方法を説明、指導します

Step 3. 結果の確認

【施設検診】 受診した医療機関に検査結果を聞きに行きます。

【集団検診】 約1か月後に結果が郵送されます。

茅ヶ崎市 保健福祉部 保健福祉課 〒243-8686 茅ヶ崎市茅ヶ崎1-1-1
電話 | 0467-52-1111(内線2223~4) FAX | 0467-82-5157



40歳になったらマンモグラフィ
自己触診では見つからないがんも見える優れた画像検査法

茅ヶ崎市 保健福祉部 保健福祉課

乳がん検診普及啓発リーフレット 「マンモグラフィへ行こう！」(裏)

近年、日本人の2人にひとりが
がんにかかると言われています。^{※1}

もう他人事とは思えない！乳がんは40-50代女性が一番かかりやすいがん

乳がんにかかる
のはクラスのお母さん
の中に1~2人(16人に
ひとり)です^{※1}！



乳がんは40-50代の女性の
がん死亡率ナンバーワン^{※2}

近年の日本では、1年間で約1万人の女性
が乳がんで亡くなっています。^{※3}
40代と50代はとくに乳がんにかかり
やすい年齢。

※1 独立行政法人国立がん研究センター がん対策情報センター がん啓発サービス 啓蒙がん統計 1.がん罹患
率にがんとも診断されることと診断時期の①がんの罹患率(罹患率)と②がんの死亡率(死亡率)を比較する(2015年データに基づく)

※2 がん統計 10 がん罹患率 3.乳がん(乳がん)の罹患率(乳がんの死亡率)を比較する(2015年データに基づく)

※3 がん統計 10 がん罹患率 3.乳がん(乳がん)の罹患率(乳がんの死亡率)を比較する(2015年データに基づく)

※ このリーフレットは、国立がん研究センター がん啓発情報センター「ソーシャルマーケティング」を活用したがん予防啓
発およびがん検診普及啓発の普及に関する研究、調査の結果を用いて制作されました。

セルフチェック
だと難しいかも…



自己触診では見つからない
ケースがたくさんある

乳がんは自己触診だけでは見つかる
ことが難しい。早期発見のためには
定期的にマンモグラフィと専門の医師
による視触診のチェックを受けること
が大事。

マンモグラフィはこんな検査です。

マンモグラフィって一体どんな検査なんだろう？
不安に思ってる人もいるかもしれません。
実際にはどんな検査なのか知れば、乳がん検診に行く時も安心！

マンモグラフィは、
いわゆるおっぱいのレントゲン

マンモグラフィは乳房X線とも呼ばれる。おっぱいの
レントゲン。
プラスチックの板と撮影台に乳房を挟んで上から
レントゲンを撮る。



1cm以下のしこりも見つけられる
優れた画像検査法。

マンモグラフィは1cm以下のしこりまで見つけら
れる、優れた画像検査法。乳がん検診ではマンモ
グラフィのみならず、問診、視触診、必要に応じて
自己触診法の指導もやってくれる。もし乳房の悩み
があったら先生に相談してみよう。

※4 乳房腫瘍が女性でない場合もあります。



乳がんも早期発見が
重要です！

乳がんは早期に発見して治療すれば98%治る。
正しい知識を持って専門の先生と一緒に、
定期的にチェックしていくことが大切

早期のがんが検診で
見つけれられるのは2年間

乳がんは早期のうちに発見して治療すれば
約98%治る。

乳がんが検診で見つかるほど大きくなってから
(1cm弱)「I期(早期)」の次の「II期」に入るまでの
期間が約2年。早期に見つけるにはやはり2年に
1度、定期的に検診を受ける必要があるのだ。

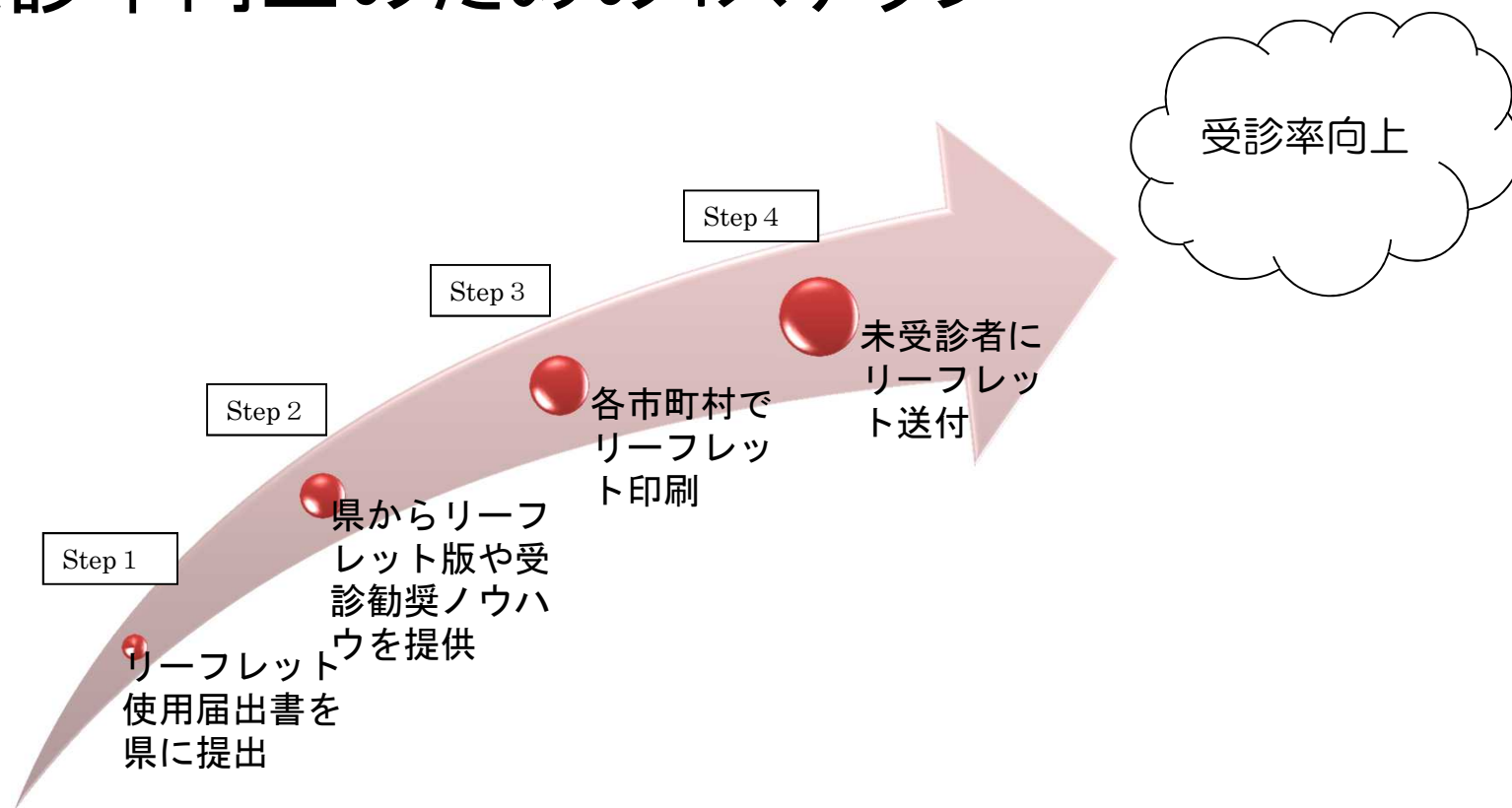
治療後の5年生存率^{※5}は

I期(早期)	→ 98.8%
II期	→ 93.8%
III期	→ 72.1%
IV期	→ 33.3%

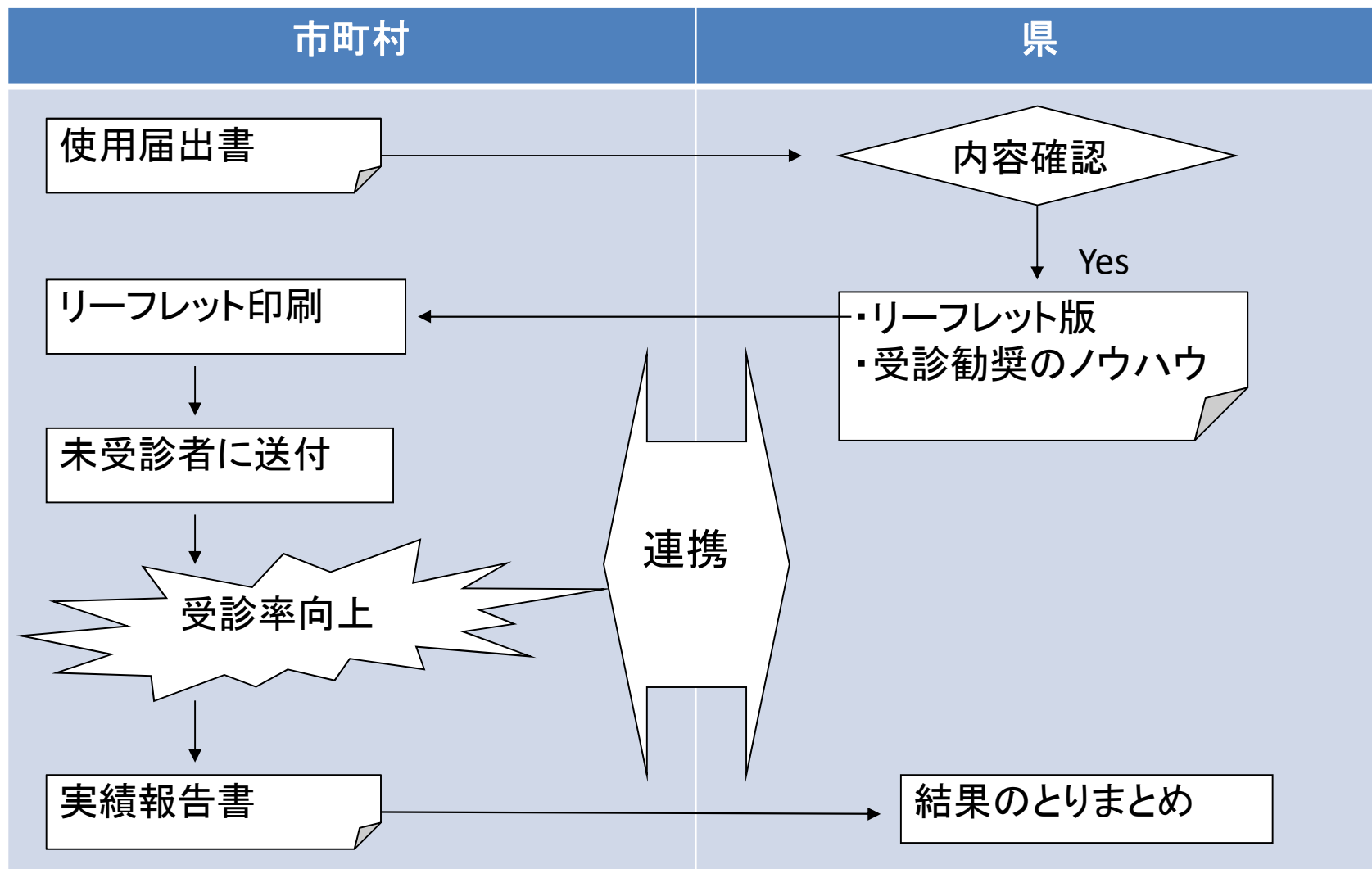
※5 治療後の5年生存率は全乳がん(成人)センター登録
乳がんの集計データ、乳がん検診後の乳がんの5年生存率

モデル事業の活用に向けて

受診率向上のための4ステップ



リーフレット活用のフロー



ご清聴ありがとうございました。



..*..°°..*..神奈川県保健福祉局保健医療部がん対策課 ..*..°°..*